

秋の花

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻85号

写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atsugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>



セイトカアワダチソウ
外来種だが虫たちの蜜源としては役立っている



2023年10月21日(土)

主催 **あつぎこどもの森クラブ**

このパンフレットのバックナンバーは右QRコードからダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

秋の花いろいろ



ミソソバ



ナンバンギセル
(ススキに寄生)



マルバノホロシ



マルバフジ
バカマ
北米原産の帰
化植物、箱根
で栽培してい
た物が広がっ
たという説。



ママコノシリヌグイ
茎に逆棘がある



チャ



ヒメジソ

最近のこどもの森公園

植物



クサギ 実 は 染料 に 使 える



ミツバアケビ 実



クマシデ 実



ゴンズイ 実



アレチヌスビトハギ 帰化植物



ヌスビトハギ 在来種



コメナモミ



ノブキ

実が動物にくっついて運ばれる、ひっつき虫の仲間



イノコツチ

虫こぶ



ヌルデの木についた
ヌルデミミフシ
虫こぶの中には、下の写真にある、ヌルデシロアブラムシが入っている。



ヌルデミミフシを乾燥させた物は五倍子といい、漢方薬や染料に使われる。



カラスウリフクレフシ



字書き虫

虫こぶではないが、葉の中に潜り込んで、葉肉を食べて育つ虫。
ハモグリバエやハモグリガの仲間。
卵を産み付けられたところから幼虫が成長しながら移動しているのが分かる。



イヌコリヤナギハア
カコフフシ

昆虫



ハラビロカマキリ 褐色型と緑色型



ヨモギトリバ



ホバリングしながら花の蜜を吸う、ホシホウジャク



クモハリカメムシ



オオアイトトンボ

キノコ



ヒイロタケ



カイガラダケ



ネムノキの葉を食
べる
キタキチヨウ幼虫

活動の記録

くぬぎの丘 バッタ類モニタリング 第4回



第4回目は10月14日に行いました。
前日に雨が降った日の午前中だったので、虫たちの活動は余り活発ではなく。当然いるはずのクルマバッタやクルマバッタモドキが見られませんでした。
オナガササキリやショウリョウバッタモドキが多く見られたのはこの草原が良い状態を保っている証拠で、草刈りをしてくださっている業者さんに感謝です。

この日の結果は下の表です。

種名	ライン1A	ライン1B	ライン2	ライン3
オナガササキリ	17	10	4	2
ショウリョウバタモドキ	6	1	7	5
ヒナバッタ	4			2
ツチイナゴ	1	1	1	1
オンブバッタ	1			2
オオカマキリ			2	
シバズ	1			
ササキリ sp	1			
セスズツコムシ	1			
コカマキリ				1
ツコムシ				1

ムササビの道脇にクヌギやコナラなどの植樹をします。

ここの斜面は当初クズが茂った荒地地でした。

現在は、年に2回業者による除草が行われていますが、ここをクヌギやコナラのカブトムシやオオムラサキの来る森にしたいと思っています。毎年少しずつ進めていますが、急な斜面があるのでこれからは大変です。取りあえず14日に木を植えるための道づくりをしました。



こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料となたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日	雑木林の春	11月18日	みのりの秋 ←次回
5月20日	新緑の空中回廊を歩く	12月16日	生き物の冬越し
6月17日	木の実を見つけよう	2024年	
7月15日	木もれ日の公園を歩く	1月20日	冬の野鳥
8月19日	湿地の生き物を調べる	2月24日	冬芽とコケ
9月16日	草原の虫たち	3月16日	春の兆し
10月21日	秋の花		

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。
毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜14時 ~16時

